

[成果情報名]仕立てや整枝・剪定方法の違いが白ワイン用ブドウ「シャルドネ」の特性に及ぼす影響

[要約]白ワイン用ブドウ「シャルドネ」において、垣根短梢剪定コルドンは、着粒が安定し、収量は1t/10a以上確保できる。夏季剪定量はやや多いが、新梢管理や剪定作業が最も単純で、時間がかからない。果実やワインの品質は、仕立てや整枝・剪定間で明確な差はみられない。

[担当]果樹試・栽培部・醸造ブドウ栽培科・渡辺晃樹

[分類]技術・参考

[背景・ねらい]

本県において、仕立てや整枝剪定方法の違いが白ワイン用ブドウ品種「シャルドネ」の果実やワイン品質に及ぼす影響は不明な点が多い。そこで、棚仕立て長梢・短梢剪定、および垣根仕立て長梢剪定ギョ・ダブル整枝（以下、ギョ）・短梢剪定コルドン整枝（以下、コルドン）の影響を比較し、栽培特性を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

- 1．棚長梢においては、ベレゾーン期が数日早い。花穂数が多く、年によっては4房着生することがある。着粒が多く、果房重が大きいため、最も多収である。夏季剪定量は少ないが、芽かき、新梢管理に時間を要する(表1、2、3)。
- 2．棚短梢においては、着粒が多く、果房重が大きいため、収量は垣根仕立てより多い。夏季剪定量がやや多く、作業に時間を要するが、棚長梢に比べ管理は単純である(表1、2、3)。
- 3．ギョにおいては、収量は棚仕立てに劣るものの、1t/10a以上は確保できる。夏季剪定量が多いが、棚仕立てに比べると作業時間は少ない。新梢の勢力にばらつきがみられる(表2、3)。
- 4．コルドンにおいても同様に、収量1t/10a以上は確保できる。夏季剪定量はやや多いが、新梢の生育がそろい、作業は最も単純で容易である(表1、2)。
- 5．糖度、pH、総酸含量などの果実品質やワインの総合評価には、仕立てや整枝・剪定間で明確な差はみられない(表1、2)。

[成果の活用上の留意点]

- 1．棚仕立てでは密着果房のため、生育後期に降雨が多いと密着裂果が発生する年があり、選果に時間がかかる。
- 2．欧州系ワイン用ブドウの棚長梢剪定では、節間が短く、新梢が混みやすいので、芽かき作業で、新梢数を調整する。
- 3．棚短梢や垣根仕立ては、簡易雨よけ施設の設置が容易である。

[期待される効果]

- 1．白ワイン用ブドウ「シャルドネ」において、仕立てや整枝・剪定方法選択の際の参考資料となる。

[具体的データ]

表1. 仕立て・剪定方法の違いが生育特性や果実品質に与える影響 (2012～2014)

仕立て	剪定	生育特性	花穂 ^{z)}	着粒 ^{y)}	果房重	果粒重	糖度	pH	総酸含量
		ベレゾーン	数	程度	(g)	(g)	(' Brix)		
棚	長梢	8/13	2.1	4.2	172	1.8	21.2	3.17	8.0
	短梢	8/13	1.9	4.1	181	1.9	20.5	3.16	8.6
垣根	ギヨ	8/15	2.0	3.4	138	1.7	20.4	3.18	7.9
	コルドン	8/15	1.8	3.7	139	1.8	19.9	3.17	8.2

明野圃場(標高710m)、樹齢5～7年生、台木:101-14、棚仕立て:長梢剪定X字型整枝・短梢剪定一文字型整枝、垣根仕立て:長梢剪定ギヨ・ダブル(ギヨ)・短梢剪定コルドン、2012～2014年の平均値

試験規模:棚長梢=8～10樹(44～56樹/10a)、棚短梢=16樹(主枝長4.4m、100樹/10a)、垣根仕立て=1区10樹×3反復(株間1.0m×畝間2.0m、500樹/10a)

平均収穫日:9/15

^{z)}1新梢当たりの花穂着生数 ^{y)}着粒程度:1(極粗)～5(極密)

表2. 仕立て・剪定の違いが収量、樹体生育およびワインの評価に及ぼす影響 (2012～2014)

仕立て	剪定	幹周 ^{z)} (cm)	収量 ^{y)} (kg/10a)	摘房量 ^{y)} (kg/10a)	夏季 ^{y)}	冬季剪定量 ^{x)}		ワイン品質 ^{x,w)}
					剪定量 (kg/10a)	1年枝 (kg/10a)	旧年枝 (kg/10a)	総合評価
棚	長梢	16.5	1,930	536	197	158	14	3.0
	短梢	15.3	1,471	214	584	523	15	3.0
垣根	ギヨ	14.2	1,168	172	635	410	100	2.9
	コルドン	14.0	1,280	147	543	496	5	3.0

^{z)}2012～2014の平均値 ^{y)}2013～2014の平均値 ^{x)}2012～2013の平均値

^{w)}ワインセンターにて試験醸造、総合評価はワイン関係者のべ91名による官能評価の平均 1(劣)～5(良)

表3. 仕立て・剪定の違いによる各管理作業時間 (2014)

仕立て	剪定	芽かき	誘引・新梢管理	整房・摘房
棚	長梢	9.6	125.1	23.8
	短梢	0	105.4	24.6
垣根	ギヨ	3.6	45.6	18.3
	コルドン	7.3	44.3	18.3

10aあたりの時間(h)

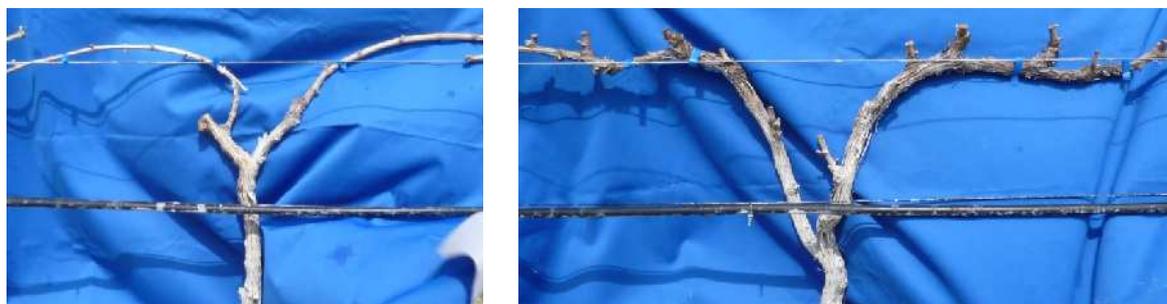


図1. 垣根仕立ての整枝・剪定方法
(左:ギヨ・ダブル整枝、右:コルドン整枝)

[その他]

研究課題名: 醸造用ブドウの高品質化に向けた栽培技術の確立

予算区分: 県単

研究期間: 2009～2014年度

研究担当者: 渡辺晃樹、三宅正則、宇土幸伸、小松正和(ワインセンター)、恩田 匠(ワインセンター)